

S300Eシリーズ サイトマスタのご紹介

サイトマスタはケーブル&アンテナシステムのVSWR、ケーブルロス、DTF（障害位置）の測定が可能です。S300Eシリーズ サイトマスタは、8代目のサイトマスタで、S300Dシリーズサイトマスタの後継器です。S331E/S361Eはケーブル&アンテナアナライザのみのモデル、S332E/S362Eはさらにスペクトラムアナライザ機能を追加したモデルの計4機種をラインナップしております。



S300Eシリーズ サイトマスタ

形名	ケーブルアンテナアナライザ	スペクトラムアナライザ
S331E	2 MHz～4 GHz	—
S361E	2 MHz～6 GHz	—
S332E	2 MHz～4 GHz	9 kHz～4 GHz
S362E	2 MHz～6 GHz	9 kHz～6 GHz

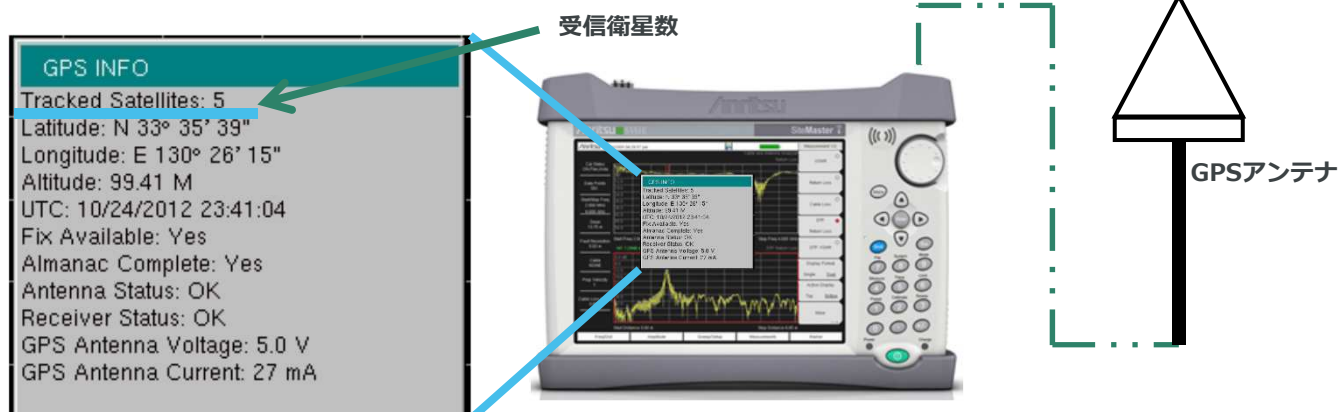
主な機能オプション

オプション	説明
S3xxE-0019	高精度パワーメータとの接続機能
S3xxE-0031	GPS受信機能

●S3xxEの特長

●オプション0031GPS受信機能

基地局に併設されたGPSアンテナの受信衛星数の確認が可能。受信した画面をワンタッチでスクリーンショット（.jpg）で保存可能



※付帯工事が完了後、無線機設置時にGPS受信不良が発生した場合の出戻り作業防止に効果的

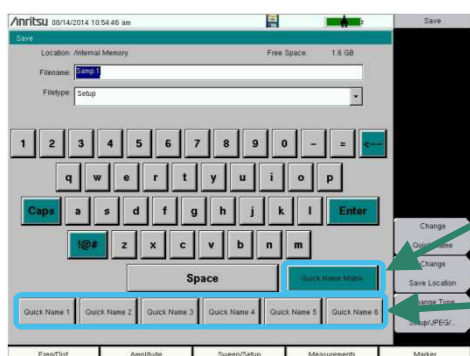
●メニュー画面の設定条件呼び出し用アイコン

内部に保存した設定条件のアイコンをメニュー画面に作成し、メニュー画面からワンタッチで呼び出し可能



※保存した設定条件をワンタッチで呼び出すことで効率アップと操作ミスの削減に効果的

- 測定結果のファイル名入力もスムーズ
言語入力もキーボードで、さらにあらかじめ編集したクイックネームで頻繁に使用される用語もワンタッチ入力可能



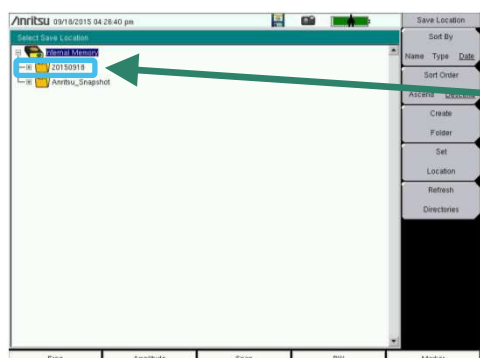
クイックネームマトリックス（ユーザ編集可能）

Keyboard	Space	←	→	Enter
Site A	Alpha	Color Code	RL	System
Site B	Beta	Color Code	IL	Load
Site C	Gamma	Color Code	DTF-RL	Open
Site D	Delta	Color Code	VSWR	Short
Site E	Epsilon	Color Code	CL	Antenna
Site F	Zeta	Color Code	DTF-VSWR	Quick Name

クイックネーム
（ユーザ編集可能）

※ファイル名の入力もスムーズに、作業効率の向上に効果的

- 測定ファイルをフォルダごとに保存することで管理がスムーズに



測定データをフォルダごとに管理可能

- アップ/ダウンリンク周波数内で最大値/最小値を検出可能

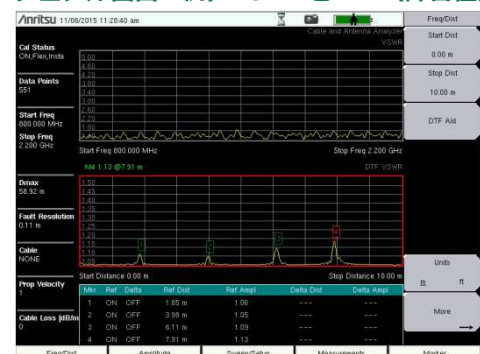


M1をアップリンク下限周波数に、M2をアップリンク上限周波数に設定し、M5のマーカオプションを利用してM1とM2の間で最大/最小値の検出が可能。

M3をダウンリンク下限周波数に、M4をダウンリンク上限周波数に設定し、M6のマーカオプションを利用してM3とM4の間で最大/最小値の検出が可能

※アップ/ダウンリンク周波数帯を同時に測定される方の効率アップに効果的

- デュアル画面 例) VSWRとDTF（障害位置検出）を同時画面で表示可能



VSWRとDTFを使用した障害位置検出、
または、ケーブルロスとDTFを使用した電気長測定が
1回の測定で可能

- つなぎ替え無しで校正可能なInstaCal™モジュール
Open/Short/Loadの3回のつなぎ替えを1回の接続で校正することで効率アップに効果的



ICN50B InstaCal™モジュール

- 周波数を変更しても校正状態を有効にするFlexCal™機能
周波数帯の異なる測定も1回の校正でカバーするため効率アップに効果的